

世界の切手に見る消防関係の切手(7)

平岩道夫(切手評論家)



(写真①)



(写真②)



(写真③)



(写真④)



(写真⑤)



(写真⑥)

今月は2か国、計8種の“消防自動車”を描いた“変わりダネ”切手を、紹介してみよう。

まず写真①②③④は、ガイアナが火災防止週間にちなんで発行した切手。

ガイアナといえば、切手収集家にとって、世界でたった1枚しか現存しない時価2億円以上といわれる“珍品切手”の発行国としても、忘れることができない国となっている。

ところで写真①=8C=は、1850年代の手動式消防ポンプを描いた切手。ポンプから勢いよく水が出ている様子も描くなど、立体感を出していると好評。

写真②=15C=は、1860年代の蒸気による消防自動車と、ちょっと見たところ、まるで学生のように見える4人の消防士たちを描いた切手。

写真③=35C=は、1930年代のハシゴを搭載した消防自動車である。

写真④=40C=は、ご覧になっておわかりのように、近代的な消防自動車を描いた



(写真⑨)



(写真⑦)



(写真⑧)

切手。

さて、写真⑤⑥⑦⑧の4枚の切手は、1987年に北朝鮮から発行されたもので、いずれもズバリ最新の消防自動車を描いている。

写真⑨は、1992年にベルギーからお目見えした切手で、放水による消火、消防士のヘルメット、そして焼失部分を描いたユニークな図案の切手である。